DocuPrint C3350

ART IV、ESC/Pエミュレーション設定ガイド

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。

②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。

⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。

また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、ART IV、ESC/P エミュレーションについて記載しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じて本書をお読みください。

本書の内容は、ご使用になる環境の基本的な知識や操作方法、および本機の基本操作を習得されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックス株式会社

目次

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアル

セットアップガイド	本機の設置手順を説明しています。
知りたい、困ったにこたえる本	プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1 冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、オプションの増設システムメモリーやセキュリティ拡張キット、パラレルインターフェイスカード、ギガビットイーサネットカードの取り付け手順について説明しています。 このマニュアルで紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報が知りたい場合は、『ユーザーズガイド』を参照してください。
ユーザーズガイド（PDF）	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルの仕様設定項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について、説明しています。 ・このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。
マニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバー、およびソフトウエアのインストール方法について説明しています。 ・このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド（PDF）（本書）	ART IV、ESC/P、PCL、PC-PR201H、HP-GL®、HP-GL/2® の各エミュレーションについて説明しています。（本書は、ART IV、ESC/P エミュレーション設定ガイドについて説明しています。） これらのマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript ユーザーズガイド（PDF）	PostScript® プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 ・このマニュアルは、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内に収録されています。
商品マニュアル（必要に応じて購入してください）	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

補足
- PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、ドライバー CD キットの CD-ROM を使って、Adobe Reader をインストールしてください。

本書の使い方

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

1. エミュレーションを使用するには
   使用できるインターフェイスや、使用できるフォント、エミュレートするプリンターなどについて説明しています。

2. エミュレーションモードの設定
   ART IV、および ESC/P エミュレーションを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

3. ESC/P モード関連資料
   ESC/P エミュレーションの倍率値や、各用紙サイズでの印字可能桁数などについて説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。
   注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
   補足　補足事項を記述しています。
   参照　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。
   参照「　」：参照先は、本書内です。
   参照『　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。
   [　]：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。
   〈　〉：キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。
   ＞：操作パネルの仕様設定やメニューの階層を表します。
   例：プリントできます＞プリント言語の設定＞ ESCP

1　エミュレーションを使用するには

1.1　エミュレーションについて

本機で使用できるプリント言語のエミュレーション（ART IV、ESC/P）について説明します。

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータを印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の ESC/P エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P エミュレーションモード（ESC/P モード）	VP-1000

補足
・ ART IV（Advanced Rendering Tools）は、富士ゼロックス株式会社が開発したページ記述言語です。

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。ART IV、ESC/P に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

・ パラレルポート
・ LPD ポート
・ NetWare ポート
・ SMB ポート
・ IPP ポート
・ USB ポート
・ Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

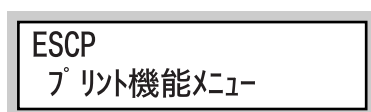
インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。ESC/P のモードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で [ESCP] を選択してください。ESC/P のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

```
ESCP
 ﾌﾟﾘﾝﾄ機能ﾒﾆｭｰ
```

補足

・ ART IV には、モードメニュー画面はありません。

参照

・ ESC/P のモードメニュー項目:「2 エミュレーションモードの設定」(P. 14)

1.2 フォントについて

ここでは、エミュレーションから使用できるフォントについて説明します。

使用できるフォント

各エミュレーションでは、以下のフォントが使用できます。

参照
- 使用できるフォントと、その印字見本は、［フォントリスト］で確認できます。［フォントリスト］については、「2.3 エミュレーションモードのリストについて」(P. 26) を参照してください。

ART IV エミュレーション

使用できるアウトラインフォントは、次のとおりです。

和文

- 明朝（平成明朝体™ W3）
- ゴシック（平成角ゴシック体™ W5）

欧文

- 平成明朝体™ W3（ローマン）
- 平成角ゴシック体™ W5（サンセリフ）
- Enhanced Classic
- Enhanced Modern
- CS Times Roman（Times New Roman）
- CS Times Italic（Times New Roman Italic）
- CS Times Bold（Times New Roman Bold）
- CS Times Bold Italic（Times New Roman Bold Italic）
- CS Triumvirate Regular（Arial）
- CS Triumvirate Italic（Arial Italic）
- CS Triumvirate Bold（Arial Bold）
- CS Triumvirate Bold Italic（Arial Bold Italic）
- CS Courier （Courier New）
- CS Courier Oblique（Courier New Italic）
- CS Courier Bold（Courier New Bold）
- CS Courier Bold Oblique（Courier New Bold Italic）
- CS Symbol（Symbol）
- OCR-B

補足
- CS 書体が指定された場合、本機では（ ）内のフォントで印刷されます。

ESC/P エミュレーション

使用できるアウトラインフォントは、次のとおりです。

和文

- 明朝（平成明朝体™ W3）
- ゴシック（平成角ゴシック体™ W5）

欧文

- ローマン
- サンセリフ
- OCR-B

ユーザー定義文字（外字）

ART IV および ESC/P エミュレーションモードでは、ユーザー定義文字（外字）を使用できます。

ユーザー定義文字はメモリーに格納され、電源を切ると消去されます。

ユーザー定義文字を格納する容量は、操作パネルから設定できますが、ART IV のユーザー定義データの容量と合わせた値です。ESC/P エミュレーションモードでのユーザー定義文字の容量は変更されません。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録します。ユーザー定義文字は、各プリント言語の間で共有できません。

フォントキャッシュ

高速印刷を実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消去されます。

1.3　排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

・残ったデータを強制排出する場合

・プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

ESC/P エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうまで、データは排出されません。パラレルインターフェイス（オプション）、USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、［自動排出時間］で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには［データ待ちです］が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的に印刷する操作です。

操作手順は、次のとおりです。

補足

・ ディスプレイに［データ待ちです］が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常に印刷されないことがあります。
次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

参照

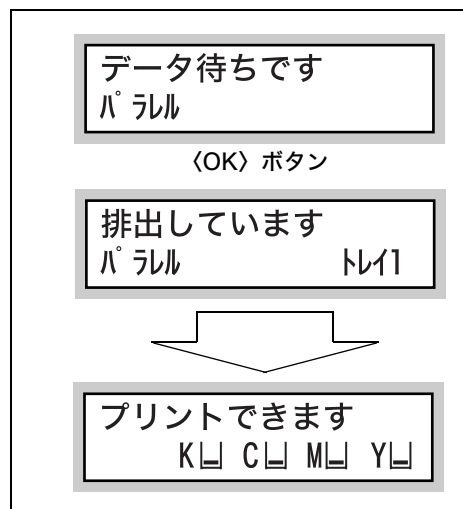
・ 自動排出時間：『ユーザーズガイド』

1. ディスプレイに右図の［データ待ちです］が表示されている状態で、〈OK〉ボタンを押します。

   印刷が開始されます。

   印刷が終了すると、［プリントできます］が表示されます。

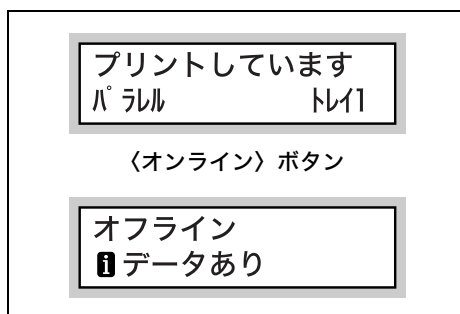
注記

・ 共通メニュー項目の［プリントモード指定］が［自動］の場合、［データ待ちです］と表示されないため、強制排出できません。

プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

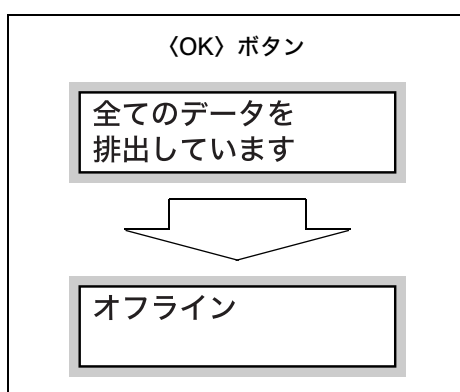
プリンターが受信している、すべてのジョブを印刷します。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

1. ディスプレイに右図の［プリントしています］が表示されている状態で、〈オンライン〉ボタンを押します。

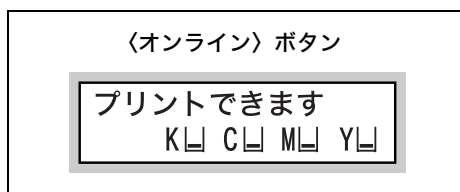
補足
・〈オンライン〉ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

2. 〈OK〉ボタンを押します。
   印刷が開始されます。

   すべてのジョブを実行して印刷すると、［オフライン］の表示になります。

補足
・パラレルインターフェイス、USBインターフェイスを使用している場合、手順1の〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。
この場合、それ以降のデータは〈OK〉ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順3のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。

3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
   ［プリントできます］の表示になります。

補足
・［プリントできます］表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の［プリントモード指定］で［自動］が設定されている場合、正常に印刷されないことがあります。

〈オンライン〉ボタン

プリントできます
K␣ C␣ M␣ Y␣

1.4　エミュレーションモードでの印刷機能

ART IV または ESC/P エミュレーションモードで使用できる、本機の印刷機能について説明します。

N アップ（ESC/P）

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙に印刷する機能です。

ESC/P エミュレーションモードでは、2 アップを利用できます。

フォーム合成

あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成して印刷できます。ESC/P エミュレーションモードからは、ESC/P および ART IV のフォームが使用でき、操作パネルから、合成するフォームを指定します。

バーコード

ESC/P および ART IVエミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- Code39
- JAN-8
- JAN-13
- Code 128
- NW7 (CODABAR)
- ITF (Interleaved 2 of 5)
- IDF（Industrial 2 of 5）
- Post(Japanese postal Customer Code)
- QR Code®
- Matrix 2of5

フォームについて

本機では、ART IV、または ESC/P を使用して定形のフォームを登録できます。

登録できるフォームの数は、次のとおりです。

	ART IV	ESC/P
ハードディスクなし	64	64
ハードディスクあり	2048	64

補足

- フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。

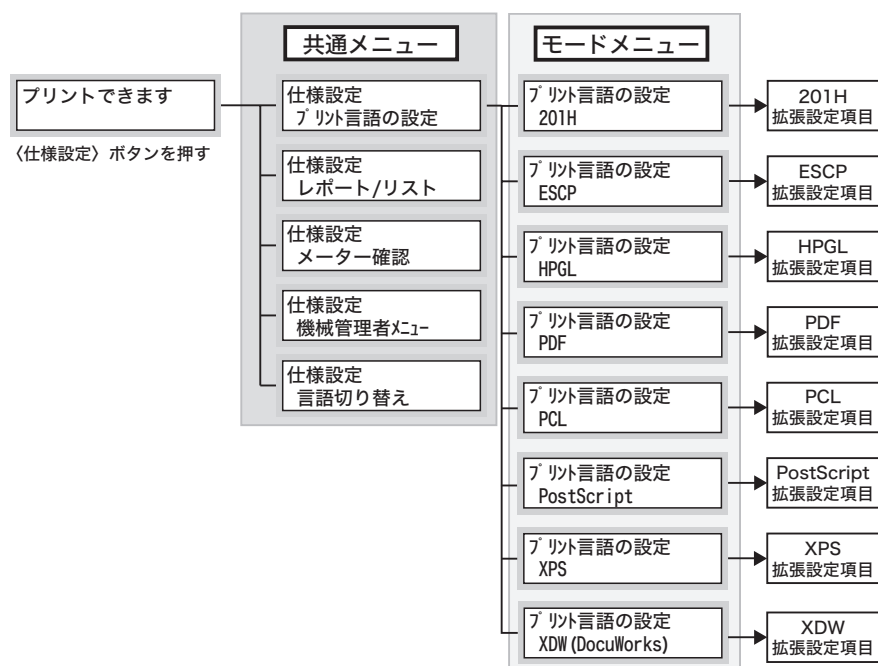
参照

- フォームが登録されたかどうかは、[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト］で確認してください。[ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト］については、「2.3 エミュレーションモードのリストについて」(P. 26) を参照してください。

2　エミュレーションモードの設定

2.1　本機の仕様設定について

仕様設定には、エミュレーション関連を設定するモードメニューと、プリンターのそのほかの設定を行う共通メニューがあります。

補足
- ART IV には、モードメニュー画面はありません。
- モードメニューの［201H］［HPGL］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）または PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。
- モードメニューの［PostScript］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

ART IV、および ESC/P に関連する共通メニュー

ART IV および ESC/P に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

補足
- ［パラレル］は、パラレルインターフェイスカード（オプション）を取り付けると表示されます。

参照
- 共通メニュー項目の詳細と操作方法：『ユーザーズガイド』

■ネットワーク / ポート設定

［機械管理者メニュー］＞［ネットワーク / ポート設定］で、エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

- ポートの起動（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB/Port9100）
  エミュレーションモードで使用するポートを起動します。

- プリントモード指定（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB/Port9100）
  各ポートのプリントモード指定を、ART IV、または ESC/P エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [ART IV] や [ESC/P]、[HexDump] などを指定できます。初期値は、すべてのポートで［自動］です。

補足
- ［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［ART IV］や［ESC/P］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 8) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

■メモリー設定

[機械管理者メニュー］ ＞［メモリー設定］で、ART IV のフォーム、およびユーザー定義で使用するメモリー容量を指定します。

- ART IV フォームメモリー
  128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は[128KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。オプションの内蔵増設ハードディスクが取り付けられている場合は、[ハードディスク］と表示されます。
- ART IV ユーザー定義メモリー
  32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［32KB］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

■フォームの削除

[機械管理者メニュー］ ＞［初期化 / データ削除］ ＞［フォーム / マクロの削除］で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません］と表示されます。

- ART IV フォーム削除
  ART IV 用のフォームを削除します。
- ESC/P フォーム削除
  ESC/P 用のフォームを削除します。

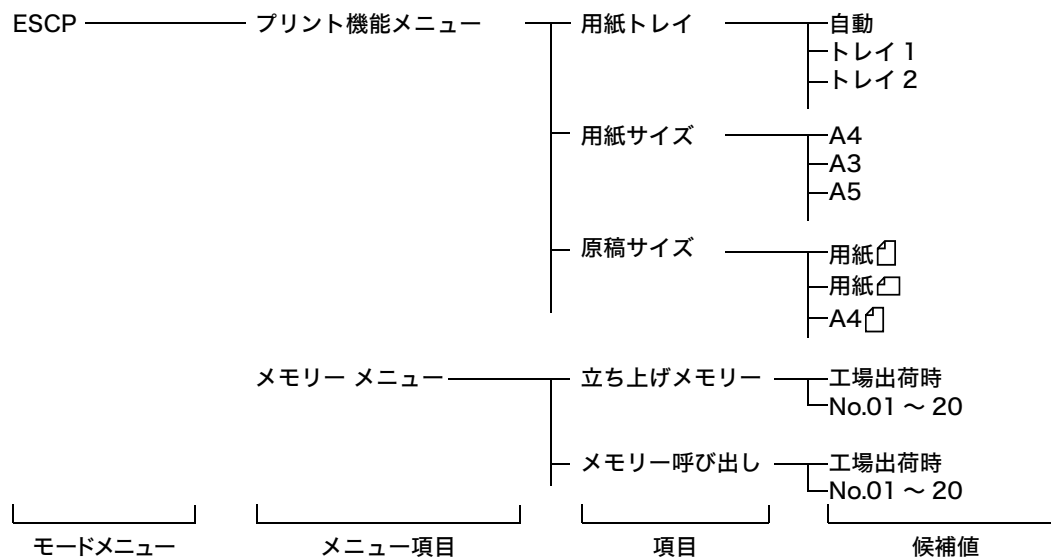
ESC/P モードメニューについて

ESC/P モードメニューは、ESC/P エミュレーション固有の設定をするためのメニューです。

モードメニューの設定内容を、印刷中に変更できます。この場合、変更された設定は、次のジョブから反映されます。

モードメニューは、次のような階層で構成されています。

- モードメニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

補足
- 項目のないメニュー項目もあります。
  項目は、項目 1、項目 2、項目 3 に分けられる場合があります。
  （以降、特に断らないかぎり項目と呼びます。）

上記の図は、ESC/P モードメニューの階層の一部を表したものです。

参照
- モードメニューで設定できる項目および操作：「2.2 ESC/P モードメニューの設定」(P. 17)

2.2 ESC/P モードメニューの設定

モードメニューで設定できる項目と、その設定方法について説明します。

ESC/P 設定項目一覧

モードメニューで設定できる項目について説明します。

参照
・装着されているオプション品によって、表示される候補値は異なります。詳しくは「 モードメニュー一覧 DocuPrint C3350（ESC/P）」(P. 34) を参照してください。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

印刷に使用するトレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[トレイ 1]（初期値）

[トレイ 2]

[トレイ 3]

[トレイ 4]

[トレイ 5（手差し）]

[自動]

補足
・[トレイ 1] ～ [トレイ 4] を選択した場合、トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため [用紙サイズ] の設定はできません。
・[自動] に設定すると、[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイを探し出し、そこから自動給紙します。
・[自動] を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
・[トレイ 2] ～ [トレイ 4] は、トレイモジュール（オプション）が装着されている場合に表示されます。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動]、または [トレイ 5（手差し）] の場合に設定できます。また、設定できる用紙は、カット紙だけです。

候補値は、次のとおりです。

[A4]（初期値）

[A3] [A5]

[B4] [B5]

[11×17"]（タブロイド）

[8.5×13"]（フォリオ）（[用紙トレイ] が [トレイ 5（手差し）] の場合だけ）

[8.5×14"]（リーガル）

[8.5×11"]（レター）

[はがき]（[用紙トレイ] が [トレイ 5（手差し）] の場合だけ）

補足
・[倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動的に設定されます。
また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで倍率が自動設定されます。
・[用紙トレイ] を、[トレイ 1] ～ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、[用紙サイズ] を設定できません。設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。

原稿サイズ

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[用紙]（初期値）

[用紙]

[A4]　[A4]　[A3]　[A3]　[A5]　[A5]　[B4]

[B4]　[B5]　[B5]　[はがき]　[はがき]

[11×17"][11×17"]（タブロイド）

[8.5×14"][8.5×14"]（リーガル）

[8.5×13"][8.5×13"]（フォリオ）

[8.5×11"][8.5×11"]（レター）

[R15×12"]（連続紙 15×12　印字保証桁　136 桁 /72 行）

[R15×11"]（連続紙 15×11　印字保証桁　136 桁 /66 行）

[R10×12"]（連続紙 10×12　印字保証桁　80 桁 /72 行）

[R10×11"]（連続紙 10×11　印字保証桁　80 桁 /66 行）

補足

- ［倍率］で［固定倍率］または［カット紙全面］が設定されている場合、［原稿サイズ］と［用紙サイズ］の組み合わせで倍率が自動設定されます。
  また、2 アップモードが設定されている場合は、［原稿サイズ］と［用紙サイズ］の 1/2 の組み合わせで、倍率が自動設定されます。
- ここで設定する方向は、原稿の向きです。トレイ内の用紙のセットの方向には、影響しません。
- ［用紙］、［用紙］を選択した場合は、［用紙サイズ］で指定したサイズと同じになります。

カラーモード

カラーモードを、［カラー］（初期値）、または［白黒］から選択します。

プリント部数

■部数の入力

印刷する部数を設定します。

設定できる範囲は、1（初期値）～ 250 部です。

補足

- クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されて印刷されます。印刷後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、NetWare、LPD ポートから指定された部数は、印刷後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

■部数の優先指定

印刷部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[コマンド]（初期値）

[プロトコル]

[メモリー登録設定]

倍率

■固定倍率（初期値）

設定されている原稿サイズと用紙サイズから倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら、100％（等倍）印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■任意倍率

任意の倍率値を設定します。縦および横について、それぞれ独立して 45 ～ 210% の間で 1% 単位で設定できます。初期値は、[たて 100% よこ 100%] です。

■カット紙全面

カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。

カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

補足
- [原稿サイズ] で連続紙が設定されている場合、[固定倍率] または [カット紙全面] は同じ印字結果になります。
- [任意倍率] の縦と横は、〈▶〉または〈◀〉ボタンでカーソルを移動し、指定してください。
  また、〈▼〉または〈▲〉ボタンで倍率値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

両面

両面印刷を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[しない]（初期値）
両面印刷を行いません。

[左右開き]
左右開きになるように印刷します。

[上下開き]
上下開きになるように印刷します。

補足
- [両面] は、お使いの機種に両面印刷モジュール (オプション) が装着されている場合に設定できます。
- [用紙サイズ] で [はがき] が選択されている場合は、[左右開き]、[上下開き] は選択できません。

2 アップ

2 アップとは、2 ページ分のデータを 1 ページに印字する機能です。用紙方向によって、上下、または左右のいずれかに印字されます。

候補値は、次のとおりです。

[しない]（初期値）
2 アップ印字を行いません。

[順方向]
2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の左側、または上側に印字します。

[逆方向]
2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の右側、または下側に印字します。

注記
- [原稿サイズ] で横向きを指定している場合、[順方向] と [逆方向] のどちらを設定しても、同じ結果となります。

手差し確認待ち

手差しトレイから給紙する印刷指示をしたあと、本体側の操作（〈OK〉ボタンを押す）によって、印刷を開始する機能です。[する] または [しない]（初期値）から選択します。

フォント

■漢字書体

2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝]（初期値）、または [ゴシック] から選択します。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。

■英数字書体

1 バイト系文字（ANK）の書体を、［ローマン］（初期値）、または［サンセリフ］から選択します。

補足
- 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

参照
- 「1.2 フォントについて」(P. 9)

用紙位置

カットシートフィーダー設定の有無による用紙位置を設定します。

候補値は、次のとおりです。

［CSF なし］（初期値）
カットシートフィーダー設定をなしに設定し、印字データに改ページ（FF）が含まれた場合、ページ長設定に従って、紙送りをします。

［CSF あり］
カットシートフィーダー設定をありに設定し、印字データに改ページ（FF）が含まれた場合、用紙を排出します。

補足
- ［原稿サイズ］で［R15 x 12"］、［R15 x 11"］、［R10 x 12"］、［R10 x 11"］が選択されている場合、［CSF あり］は選択できません。

位置補正

データを印刷する位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

■上下方向

-250 〜 250mm の範囲で、1mm 単位で設定できます。初期値は、［0mm］です。

インチ表示の場合、-9.8〜9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は、[0.0"] です。

■左右方向

-250 〜 250mm の範囲で、1mm 単位で設定できます。初期値は、［0mm］です。

インチ表示の場合、-9.8〜9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は、[0.0"] です。

補足
- 印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
- 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

罫線

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

候補値は、次のとおりです。

［イメージ］（初期値）
2 バイト系罫線をイメージで印刷します。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

［フォント］
2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントで印刷します。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

印字制御

■漢字コード表

使用する漢字コード表（2121 〜 287E）を設定します。

候補値は、次のとおりです。

［エプソン］（初期値）
セイコーエプソン株式会社の VP-1000 のコード体系に設定します。

[東芝]
株式会社東芝の J-3100 のコード体系に設定します。

■白紙節約

改ページだけのデータのように、印刷するデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[する]（初期値）
白紙のページは、排出されません。

[しない]
白紙のページも、排出されます。

補足
・[する] に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや、白だけのイメージデータのときは白紙が排出されます。
・[する] が設定され、2 アップ印刷または両面印刷の指示がされている場合は、白紙になるページはスキップして処理されます。

■イメージ エンハンス

イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

[する]（初期値）

イメージエンハンス機能を使用して、印刷します。

[しない]

イメージエンハンス機能を使用しないで、印刷します。

■印字桁範囲

右マージンの位置を拡張できます。

候補値は、次のとおりです。

[標準]（初期値）
右マージン位置を 10cpi で 136 桁位置に設定します。

[範囲拡張]
印字倍率の設定によって、10cpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足
・[印字桁範囲] を [範囲拡張] から [標準] に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されます。
・コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

■文字コード

日本語表記に使用する文字コードを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[JIS]（初期値）
JIS コードに設定します。

[Shift-JIS]
Shift-JIS コードに設定します。

■キャラクター モード

キャラクターモードとは、通常 16 進数で表記されるプリンター用コマンドを、キャラクターで記述してプリンターへ送信して制御する機能です。IBM のホストコンピューターから、キャラクターモード対応のコンピューターを経由して、プリンター制御コマンドを直接送る場合は、開始宣言文字列に「&$%$」、「$?!#」のどちらかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[オフ]（初期値）
キャラクターモードを設定しません。

[&$%$Entry]
開始宣言文字列に「&$%$」を使用します。

[$?!#Entry]
開始宣言文字列に「$?!#」を使用します。

ESCP スイッチ

補足
・［文字品位］、［縮小文字］、［文字コード表］、［ページ長］および［1 インチミシン目スキップ］の各設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

■文字品位

文字の印字品質モードを［高品位］（初期値）、または［ドラフト］から選択します。

補足
・ 設定状態の変更で、実際の印字は変化しません。
・ 本設定は、文字品位選択コマンドに影響します。
文字品位選択コマンドについては、商品マニュアルの『リファレンスマニュアル（ESC/P 対応）』を参照してください。

■縮小文字

1 バイト系の英数字を印字する場合、文字を縮小して印字することができます。

候補値は、次のとおりです。

［しない］（初期値）
英数字を等倍で印字します。

［する］
英数字を縮小して印字します。

■文字コード表

1 バイト系の英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。国内版アプリケーションをご使用の場合は［カタカナ］（初期値）に、海外版アプリケーションをご使用の場合は［拡張グラフィックス］に設定してください。

■ページ長

1ページの長さ（印字エリア）を［11インチ］（初期値）、または［12インチ］から選択します。

■1 インチミシン目スキップ

ページとページの間を、1 インチ空けるか空けないかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

［しない］（初期値）
ページとページの間を空けません。

［する］
ページとページの間を、1 インチ空けます。1 インチ空けるように設定すると、連続紙使用時のミシン目スキップのように、カット紙の場合でもページの間隔を 1 インチ空けて印字できます。

補足
・［用紙位置］でカットシートフィーダーがなしに設定されている場合に、実行されます。

■給紙位置

印字開始位置を、用紙の上端からの長さで設定します。［8.5mm］（初期値）、または［22mm］から選択します。インチ表示の場合は、［0.3"］（初期値）、または［0.9"］から選択します。

■CR の機能

CR コマンド受信時の動作を設定します。

候補値は、次のとおりです。

［復帰］（初期値）
印字復帰だけを行います。

［復帰 / 改行］
印字復帰し、直後に改行を行います。

■ 0 の字体

数字の 0 の字体を、［斜線なし］（初期値）または［斜線あり］のどちらかに設定します。

■バーコードモード

バーコードを印刷するときは、バーコードモードに設定することで、よりバーコードに適した印刷ができます。

［無効］（初期値）または［有効］から選択します。

拡張子指定

指定した拡張子を有効にするかどうかを、［有効］、または［無効］（初期値）で設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、［有効］に設定してください。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；(セミコロン＝ 3BH)）のことです。

拡張子文字

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ～ 0x7d です。初期値は、［&%］です。

補足

- 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト（16 進数で 1BH である ESC とそれに続く；(セミコロン＝ 3BH)）のことです。

フォーム合成

ESC/P および ART IV モードで登録されているフォーム名（各モード No.01 ～ 64）を選択すると、常にフォーム合成を行います。初期値は、［しない］です。

補足

- この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- フォームを選択したあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときには、そのフォーム名が表示されます。ただし、その表示状態から〈▼〉または〈▲〉ボタンで表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、［しない］に設定されます。
- フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選択した場合は、［フォーム登録はありません］というメッセージが表示されます。

メモリーメニュー

NV メモリー(No.01 ～ 20)に設定内容を登録し､必要に応じて呼び出すことができます｡

立ち上げメモリー

立ち上げメモリーとは、あらかじめ［メモリー登録］で登録しておいた NV メモリー（No.01 ～ 20）を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

初期値は、［工場出荷時］です。工場出荷時の設定内容を読み出して立ち上げます。

メモリー呼び出し

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

初期値は、［工場出荷時］です。工場出荷時の設定内容を呼び出します。

メモリー登録

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー（No.01 ～ 20）があります。

メモリー登録では、NV メモリー（No.01 ～ 20）にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容を、ひとまとめにして登録します。

登録しておくと、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返す必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化、またはメモリー削除を行うまで保持されます。

メモリー削除

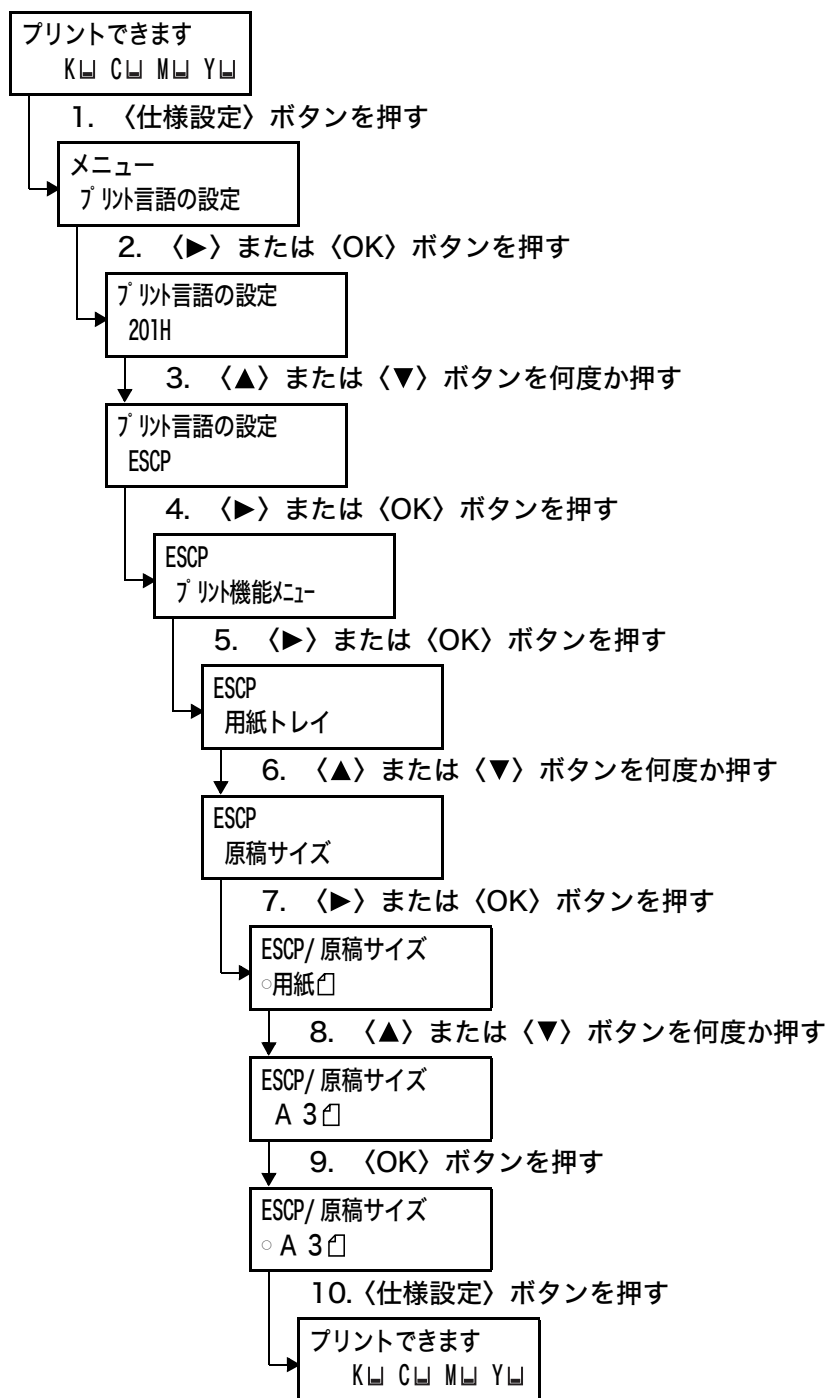
NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

補足

・ メモリーに設定内容が登録されていない場合、［No.01］～［No.20］は表示されません。［メモリー登録はありません］というメッセージが表示されます。

ESC/P モードメニューの設定方法

モードメニューの設定方法について、ESC/P モードの原稿サイズを［A3］に設定する場合を例に説明します。

2.3　エミュレーションモードのリストについて

エミュレーションモードのリストについて説明します。

参照
・ その他のレポート / リストについては、『ユーザーズガイド』を参照してください。

ESC/P 設定リスト

ESC/P エミュレーションモードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] ＞ [プリント言語] ＞ [ESC/P 設定リスト] を選択し、印刷します。

フォントリスト

本機で使用できるフォントの一覧が印刷されます。ART IV、ESC/P で使用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] ＞ [フォント リスト] を選択し、印刷します。

ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト

登録したフォーム、ロゴ、ユーザー定義領域の使用状況などを確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] ＞ [ユーザー定義リスト] を選択し、印刷します。

ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト

NV メモリーに登録されている No.01 ～ 20 の各設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] ＞ [プリント言語] ＞ [ESC/P 登録リスト] を選択し、印刷します。

3　ESC/P モード関連資料

3.1　倍率値一覧表

補足
・ お使いのプリンターの機種によっては、使用できない用紙サイズがあります。

固定倍率値

原稿サイズ	用紙サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
A3	長辺	100	70	49	86	60	103	84	78	66	100
	短辺	100	70	48	86	60	94	72	72	72	100
A4	長辺	143	100	70	123	86	147	120	112	94	48
	短辺	143	100	69	123	86	135	103	103	103	45
A5	長辺	204	143	100	177	123	210	172	160	135	69
	短辺	207	145	100	178	124	195	149	149	149	65
B4	長辺	116	81	57	100	70	119	98	90	76	100
	短辺	116	81	56	100	70	109	83	83	83	100
B5	長辺	164	116	81	143	100	171	140	130	109	56
	短辺	164	116	81	143	100	156	120	120	120	53
11×17	長辺	97	68	48	84	59	100	82	76	64	100
	短辺	106	74	51	92	64	100	77	77	77	100
8.5×14	長辺	119	83	58	102	72	122	100	93	78	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
8.5×13	長辺	128	90	63	111	77	132	108	100	84	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
8.5×11	長辺	152	106	74	131	92	156	128	119	100	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
ハガキ	長辺	100	100	145	100	178	100	100	100	100	100
	短辺	100	100	153	100	190	100	100	100	100	100
15×1	長辺	119	83	58	103	72	122	100	93	78	100
	短辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
15×2	長辺	119	83	58	103	72	122	100	93	78	100
	短辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
10×11	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10×12	長辺	135	95	66	117	81	139	114	105	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

単位：[%]

補足
・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

固定倍率値（2 アップ指定時）

原稿サイズ	用紙サイズ	A3/2	A4/2	A5/2	B4/2	B5/2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
A3	長辺	70	49	100	60	100	66	50	50	50	100
	短辺	70	48	100	60	100	72	59	54	45	100
A4	長辺	100	70	48	86	60	94	72	72	72	100
	短辺	100	69	48	86	59	103	84	78	65	100
A5	長辺	143	100	69	123	86	135	103	103	103	45
	短辺	145	100	69	124	86	149	121	112	94	47
B4	長辺	81	57	100	70	49	76	58	58	58	100
	短辺	81	56	100	70	48	83	68	63	53	100
B5	長辺	116	81	56	100	70	109	83	83	83	100
	短辺	116	80	55	100	69	120	98	90	76	100
11×17	長辺	68	48	100	59	100	64	49	49	49	100
	短辺	74	51	100	64	100	77	62	58	48	100
8.5×14	長辺	83	58	100	72	50	78	60	60	60	100
	短辺	97	67	100	84	57	100	82	75	63	100
8.5×13	長辺	90	63	100	77	54	84	64	64	64	100
	短辺	97	67	100	84	57	100	82	75	63	100
8.5×11	長辺	106	74	51	92	64	100	77	77	77	100
	短辺	97	67	46	84	57	100	82	75	63	100
ハガキ	長辺	100	145	100	178	124	100	149	149	149	65
	短辺	100	153	105	190	131	100	185	172	144	71
15×11	長辺	83	58	100	72	100	78	60	60	60	100
	短辺	72	50	100	62	100	74	60	56	47	100
15×12	長辺	83	58	100	72	100	78	60	60	100	100
	短辺	66	46	100	57	100	68	55	51	100	100
10×11	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10×12	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

単位：[%]

補足
・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

カット紙全面倍率値

原稿サイズ	用紙サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
A3	長辺	98	69	48	85	59	101	83	77	64	100
	短辺	97	68	47	84	58	91	70	70	70	100
A4	長辺	138	97	68	120	84	142	117	108	91	100
	短辺	137	96	66	118	82	129	99	99	99	100
A5	長辺	196	137	96	169	118	201	165	153	129	66
	短辺	195	136	94	168	117	183	140	140	140	62
B4	長辺	113	79	55	98	68	116	95	88	74	100
	短辺	112	78	54	97	67	105	81	81	81	100
B5	長辺	160	112	78	138	97	165	135	125	105	54
	短辺	158	110	76	136	95	149	114	114	114	50
11×17	長辺	95	67	47	82	57	98	80	74	63	100
	短辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
8.5×14	長辺	116	81	57	100	70	119	98	90	76	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
8.5×13	長辺	125	87	61	108	75	128	105	97	82	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
8.5×11	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
ハガキ	長辺	100	195	136	100	168	100	100	100	183	94
	短辺	100	201	139	100	173	100	100	100	207	91
15×11	長辺	135	95	66	117	81	139	105	114	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
15×12	長辺	135	95	66	117	81	139	105	114	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10×11	長辺	147	103	72	127	89	151	115	124	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10×12	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

単位：[%]

補足

・ 長辺または短辺の倍率値が 45 ～ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

カット紙全面倍率値（2 アップ指定時）

原稿サイズ	用紙サイズ	A3/2	A4/2	A5/2	B4/2	B5/2	11×17/2	8.5×14/2	8.5×13/2	8.5×11/2	ハガキ/2
A3	長辺	69	48	100	59	100	64	49	49	100	100
	短辺	68	47	100	58	100	70	57	53	100	100
A4	長辺	97	68	47	84	58	91	70	70	70	100
	短辺	96	66	46	82	57	99	80	74	62	100
A5	長辺	137	96	66	118	82	129	99	99	99	100
	短辺	136	84	65	117	80	140	114	106	88	100
B4	長辺	79	55	100	68	48	74	57	57	57	100
	短辺	78	54	100	67	46	81	66	61	51	100
B5	長辺	112	78	54	97	67	105	81	81	81	100
	短辺	110	76	53	95	65	114	93	86	72	100
11×17	長辺	67	47	100	57	100	63	48	48	48	100
	短辺	72	50	100	62	100	74	60	56	47	100
8.5×14	長辺	81	47	100	70	49	76	58	58	58	100
	短辺	93	50	100	80	55	96	78	72	61	100
8.5×13	長辺	87	61	100	75	52	82	63	63	63	100
	短辺	93	64	100	80	55	96	78	72	61	100
8.5×11	長辺	103	89	100	89	72	97	74	74	74	100
	短辺	93	80	100	80	55	96	78	72	61	100
ハガキ	長辺	195	136	94	168	117	183	140	140	140	62
	短辺	201	139	96	173	119	207	169	156	131	65
15×11	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
15×12	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10×11	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10×12	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

単位：[%]

補足
- 長辺または短辺の倍率値が 45 〜 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

3.2　用紙サイズと印字可能桁数

補足
・ お使いのプリンターの機種によっては、使用できない用紙サイズがあります。

給紙位置 22mm の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	113	92	161	63
B4	97	78	139	53
A4	79	63	113	42
B5	68	53	97	35
A5	54	42	79	27
はがき	35	30	54	19
11×17	106	94	166	58
8.5×14	81	76	136	43
8.5×13	81	70	126	43
8.5×11	81	58	106	43

給紙位置 8.5mm の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	113	95	161	66
B4	97	82	139	56
A4	79	66	113	45
B5	68	56	97	39
A5	54	45	79	31
はがき	35	30	54	19
11×17	106	98	166	62
8.5×14	81	80	136	47
8.5×13	81	74	126	47
8.5×11	81	62	106	47

補足
・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
・ 縦 / 横倍率は、それぞれ 100% です。

カット紙全面の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	116	99	165	70
B4	101	85	143	60
A4	82	70	116	49
B5	71	60	101	42
A5	58	49	82	34
はがき	39	34	58	23
11×17	110	102	170	66
8.5×14	85	84	140	51
8.5×13	85	78	130	51
8.5×11	85	66	110	51

補足
・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

15 インチ連続紙モード（横固定 / 左置き）の場合

用紙サイズ	15 x 11		15 x 12	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	136	66	136	72

補足
・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

10 インチ連続紙モード（縦固定 / 中央置き）の場合

用紙サイズ	10 x 11		10 x 12	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	80	66	80	72

補足
・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

索引

モードメニュー一覧　DocuPrint C3350（ESC/P）

プリントできます
オプション
初期値（太枠）
〈仕様設定〉ボタン
プリント言語の設定
201H
ESCP
HPGL
PDF
PCL
PostScript
XPS
XDW(DocuWorks)
プリント機能メニュー
(前ページ参照)
印字制御
漢字コード表
エプソン
東芝
白紙節約
イメージ エンハンス
する
しない
印字桁範囲
標準
範囲拡張
文字コード
JIS
Shift-JIS
キャラクター モード
オフ
&$%$Entry
$?!#Entry
ESCPスイッチ
文字品位
高品位
ドラフト
縮小文字
しない
する
文字コード表
カタカナ
拡張グラフィックス
ページ長
11インチ
12インチ
1インチミシン目スキップ
しない
する
給紙位置
8.5ミリ
22ミリ
（インチ表示では 0.3"）
（インチ表示では 0.9"）
CRの機能
復帰
復帰/改行
0の字体
斜線なし
斜線あり
バーコードモード
無効
有効
拡張子指定
無効
有効
拡張子文字
[&%]
[&%]
相当文字コード各桁
0x21〜0x7d 単位:1
フォーム合成
しない
フォームが登録されている場合
ESCPフォーム
01 12345678
02 abcdefgh
64 hisaashi
ART IV フォーム
01 12345678
02 abcdefgh
64 hisaashi
フォーム名を選択したあとでそのフォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときには、そのフォーム名を表示する。ただし、その表示状態から〈▲〉〈▼〉ボタンで項目表示が変更されたあとは表示しない。
フォームが登録されていない場合
フォーム登録はありません
メモリー メニュー
立ち上げメモリー
工場出荷時
メモリー登録されている場合
No.01
No.20
最大値：20
メモリー呼び出し
工場出荷時
メモリー登録されている場合
No.01
No.20
最大値：20
メモリー登録
No.01
No.02
No.20
最大値：20
メモリー削除
メモリー登録されている場合
No.01
No.02
No.20
最大値：20
メモリー登録されていない場合
メモリー登録はありません

商品のお問い合わせ先について

● この商品の保守、操作、修理(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および消耗品をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：**0120-14-1046**

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時〜17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。
担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。
TEL：0120-88-8641　　FAX：0120-22-6993
受付時間：9時〜12時、13時〜17時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint C3350

ART IV、ESC/P エミュレーション設定ガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社

発行年月―2009 年 12 月　第 1 版

（管理 No: ME4652J1-1）